

雫石町消防団ビジョン【概要版】

第1章

雫石町消防団ビジョンの趣旨

消防団を将来にわたり維持していくため、ビジョンにより、

- ・将来像、役割を明確化する
- ・団員の安全を確保しながら活動しやすい体制づくりをする
- ・多様化する災害に対応する

雫石町消防団ビジョンの期間

- ・期間は10年を目安、都度見直し
- ・検討協議会（団、県、常備消防、有識者）による改訂

第4章

消防団を取り巻く課題

1. 団員数の減少

社人研人口推計により、R6：254人→R17：146人

6人を下回る部が発生することが予想される

2. 施設の老朽化

屯所17施設、車両18台 更新する際は多大な経費が発生

3. 多発する自然災害

大雨災害、火災災害、地震災害、火山災害

第5章

雫石町消防団の将来像

将来像：『消防団とその家族がやりがいと誇りを持ち、
将来にわたり持続可能な消防団』

- 役割：
- ・常備消防と連携した消火活動と火災予防活動の実施
 - ・地域防災リーダーとして、地域に密着した防災活動の実施

第6章

将来像を実現するための取り組み

取り組み方針	取り組み項目	具体的な取り組み
団員の確保と団組織の運営	団員確保の取り組み	団員勧誘と協力企業への働きかけ、行事見直しによる負担軽減、広報強化、団員支援、報酬見直し
	持続可能な組織体制	部統合と班体制、コミュニティとしての団維持、新たな部隊検討、本部整備、相談体制整備
団員の消防技術、地域防災力の向上	消防技術の向上	実践的な訓練実施、研修の実施
	地域防災力の向上	防災研修実施、地域防災拠点機能の発揮
消防施設等の計画的な整備	屯所整備方針	部統合に合わせた屯所、車両の整備年次方針
	車両整備方針	針による計画的な整備・更新
	装備品整備方針	装備品、資機材の計画的な更新

第2章

町の状況

第3章

雫石町消防団の現状

定数：367人 実員：250人 (R7.4.1)

